

# みずいろ通信

## Vol. 4

2020年  
5月発行



こんにちは。

みなさま、お変わりありませんか？ 春の陽気が気持ちのよい季節になりました。

今号を担当させていただきます、くるみ乳児院の中谷と申します。

Vol.3 を発行した頃は、新型コロナウイルス感染症が世界中に広がり、日本国内でも毎日のように感染者が報告され、不安な日々が続いていました。小中学校が休校になり、演劇や公演などの自粛も行われていましたが、4月7日には緊急事態宣言が発令されました。みなさまも落ち着かない日々をすごされていることと思います。どうぞ自身のお身体、ご家族はじめ大切な方々をお大事になさってください。

2月下旬からは、4Sの里親普及啓発活動や里親家庭への訪問支援、施設での登録前実習なども中止もしくは自粛しておりますので、以前は毎月一度は必ず4Sが顔を合わせていたのにそれもなくなり、ずっと各施設での勤務となっています。早くこの状況が落ち着き、これまでのように活動しに行きたいとウズウズしていますが、きっと他の4Sも同じだと思います。



さて、今回は里親登録前施設実習について、四恩学園・四恩たまみず園（児童養護施設）での実習内容を紹介させていただきましたので、今回は里親登録前研修の内容についてお話しさせていただこうと思います。

大阪市在住の方で、里親になりたい！里親になろう！と思われた方は、大阪市こども相談センター里親子包括支援室が主催する、3日間の里親登録前研修（基礎・Ⅰ・Ⅱ＝これらを1クールとします）と里親登録前施設実習を受けていただいた後、家庭訪問やその他諸手続きを経て、里親として登録していただくことが必要です。

2020年度も計5クールの研修を予定しています。毎年回を増すごとに参加者が多く、里親希望の方々の熱意を強く感じます。

### ☆里親登録前研修 基礎 (AM10:00~PM5:00)

里親制度の基礎を知っていただくための一日となっています。今年度より、4Sと里親としての活動が3年未満の里親さんとの30分間のトークセッションが講義内容に加わりました。初めて里子を受けた時の気持ちや、楽しかったこと、困ったことなどをお話ししていただきます。

他には、弁護士から子どもの権利擁護の話もあります。弁護士の話と聞くと、難しい話なのかと思われるかもしれませんが、分かりやすく丁寧に話してくれますし、質疑応答の時間もあるのでご安心ください。

### ☆里親登録前研修 I (AM10:00~PM5:00)

里親養育の役割りの話や養育里親としても活躍されている看護師から小児の保健についての話、心理士からは成長に伴う子どもの想いや親と子の愛着関係についての話、また4Sから各地域の子育て支援サービスの紹介、大阪市里親会会長から里親会の活動や里親家庭での子育てについての話もあります。子どもを養育する上で、知っておくと役立つ話がぎゅっと詰まっているのが2日目の講義の特徴です。



### ☆里親登録前研修 II (AM10:00~PM5:00)

施設で生活する子どもたちのことを、もう少し詳しく知っていただくために、4Sが映像を交えながらお話しします。また、里子を養育するにあたり、行政や地域との連携は強みとなりますので、各関係機関との協働についてもお話しさせていただきます。

里子が成長し、自立していくときの支援の話もさせていただきます。

そして、各日ともに様々な意見交換の場があります。自分も相手も大切に思い、お互いの意見を尊重し理解する。相手の気持ちに思いをはせるなどのグループワークです。



これらの研修後、乳児院や児童養護施設で2~3日間の実習を行い、実際に子どもたちの生活を見て、子どもたちと触れ合ってください。

くろみ乳児院での実習の様子はと言いますと・・・

子どもと遊んでもらうことを中心に、オシメ交換や更衣、食事介助などにも積極的にかかわっていただいています。抱っこをしたり、座ってじっくりと遊ぶ時間をすごしたり、忙しい毎日を送られている働き盛りの方々には、ゆったりとした癒しの時間をすごしてもらっているように思います。



首がすわっていない乳児もいれば、月齢によっては人見知り激しい時期の子、また年齢によっては大人との会話が上手にできる子など様々な子どもがいますが、どの子も明るく大きな声で泣いて笑って元気いっぱいです。里親希望者の方が抱っこしてくれる人とわかると、嬉しくてみんな次々に抱っこやおんぶを求めます。そのため、足腰への負担が翌日に響くのではと心配になります。複数の子どもたちと多職種の職員の様子を見てもらうことで、施設の強みと足りない部分を感じてもらい、そして家庭ではどんなことができるのだろうか？と考えてもらうきっかけにしたいと思っています。実習の終わりに感想をうかがうのですが、多くの方は「施設のイメージはもっと暗く、子どもたちもおとなしいのかと思っていたが、施設は明るくきれいで、子どもたちも一般の家庭の子と変わらない。」と驚かれます。実習を体験し、改めて子どもたちのための里親制度を考えるきっかけになってもらえたらと思います。

☆里親登録前研修についての詳細は、大阪市のHP “さとおやっとなあに??” をご覧ください。



『今後のイベント告知』

決まり次第、ご案内させていただきます。

『編集後記』

2020年度からは、4Sとしての活動の幅がさらに広がっていきそうで、ワクワクしています。一年ごとに一層チームワークも良くなってきているように思います！ 里親と、里子の成長を一緒に喜び合える、そしてお互い成長できる関係になればと思っています。 (中谷)